

「膵腫瘍に対する超音波内視鏡下穿刺吸引生検(EUS-FNA)後の穿刺経路腫瘍細胞播種(Needle tract seeding)の二次調査」に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属溝口病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間:2021年9月11日～2021年12月31日

〔研究課題〕

膵腫瘍に対する超音波内視鏡下穿刺吸引生検(EUS-FNA)後の穿刺経路腫瘍細胞播種(Needle tract seeding)の二次調査

〔研究目的〕

本研究の目的は、我が国における膵腫瘍に対するEUS-FNA後Needle tract seedingの実態を後ろ向きに調査することです。

〔研究意義〕

膵腫瘍に対し超音波内視鏡下穿刺吸引生検(EUS-FNA)を施行した際、その穿刺経路に腫瘍細胞播種(Needle tract seeding)を来す可能性が報告されています。本来であれば長期予後が期待できる膵腫瘍切除症例においてNeedle tract seedingが顕在化することが問題となっています。そこで本研究は、我が国における膵腫瘍に対するEUS-FNA後Needle tract seedingの実態を後ろ向きに調査し、その結果が今後の臨床に役立つものであると考えています。

〔対象・研究方法〕

研究は2010年4月1日～2018年3月31日の期間に、当院で、膵腫瘍に対しEUS-FNA(超音波内視鏡下穿刺吸引生検)を受けられた20歳以上の患者様のうち、施行後の経過中にNeedle tract seeding(穿刺経路腫瘍細胞播種)を来した症例を対象にします。

調査する内容は主に以下のとおりです。

膵腫瘍に対するEUS-FNA(超音波内視鏡下穿刺吸引生検)後、経過観察中にNeedle tract seeding(穿刺経路腫瘍細胞播種)を来した症例の部位別発生率及び、組織学的発生率。

〔研究機関名〕

和歌山県立医科大学附属病院第二内科(教授:北野 雅之)、帝京大学溝口病院消化器内科(准教授:土井 晋平)

日本膵臓学会会員所属施設

〔個人情報の取り扱い〕

研究にあたっては、対象となる方の個人を同定できる情報は一切使用致しません。集められたデータは個人情報が漏出することのないように管理し、患者個人を特定できないようにした状態で記録します。データの管理、保管は厳重に行い、研究終了後にデータおよび資料は倫理委員会事務局に提出され帝京大学臨床研究センターにて10年間保管後にすべて廃棄します。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者: 土井 晋平 (准教授)

所属: 帝京大学医学部附属溝口病院 消化器内科

住所: 〒213-8507 神奈川県川崎市高津区二子 5-1-1

TEL: 044-844-3333 (代表)